

パワーのかたまり塩むすび

千葉市立小谷小学校 三年 星野 凪

凪、いけいけいおむすび五つ食べたんだ。今日は、三年生になって初めてのバスケットの公式戦だ。ぼくは、試合の始めから終りまで、パワーにみちあふれていた。まだまだ走れるぞ、と決勝戦の後半でもぼくのパワーは落ちることにはなかった。ぼくたちは勝ち進んで優勝することができた。

ぼくは、一年生からバスケットチームに入っている。バスケットは大好きだ。そのバスケットと同じくらい好きなことは、食べることだ。ぼくのくいしんぼうは、チームでも有名だ。そんなぼくが好きな食べ物は、白いご飯だ。どんなにおいしいおかずがあっても、白いご飯がないと、おいしさが半分位にへってしまうと思う。

だから、ぼくが試合の合間に食べるために持っていくのは、おむすびと決めている。それもお具は一切なしの塩むすびだ。他のメソ

バーは、ステイックパソヤ、セリー、バナナ
 なども、持ってきている人が多し。ぼくもみ
 んなどと同じような物を持ってきたこともある
 が、すぐおなかはへるし、たくさん食べすぎ
 ると気持ちが悪くなったりした。それから、
 必ず塩むすびだ。おむすびは具が入っている
 のもおいしいけれど、お米の味がしつかり感
 じられる塩むすびが、やっぱり一番好きだ。

「お米の一つぶ一つぶには神さまがいる。し
 て教えられたので、ぼくは毎日ごはんは一つ
 ぶも残さずにしつかり食べている。だけど最
 近塩むすびを食べているところ思う。」

「お米の一つぶ一つぶには神さまだけでなく
 パワーも宿っている。」

だから、9月の次の大会にも、また塩むす
 びを作ってもらって、持っていきこうと思っ
 ている。今回は五個作ってもらったが、それだ
 と少しもの足りなかつたので、今度は特大の
 を七個作ってもらおう。今度もきつと最後ま
 でパワー全開でがんばれるはずだ。